

令和元年度第1回岐阜県図書館協議会議事要旨

1 開催日時 令和元年8月8日(木) 午後1時30分～午後3時10分

2 開催場所 岐阜市宇佐4丁目2-1
岐阜県図書館 2階 特別会議室

3 会議日程

- ・ 委員長選出
- ・ 委員長挨拶
- ・ 館長挨拶
- ・ 議 題

○協議事項 平成30年度岐阜県図書館「図書館評価」について

○報告事項 令和元年度に実施する工事について

4 委員の現在数 10名

5 出席委員等の人数及び氏名 9名

委員長 折戸 敏仁

副委員長 浦部 幹資

委員 加藤 真人

委員 金森 さちこ

委員 高木 誠

委員 長瀬 とも

委員 野々村 修一

委員 佐藤 美穂

委員 山川 紗奈

事務局出席者

鍋島館長、渡辺副館長、谷口総務課長、矢島企画課長、多田サービス課長、

小枝管理調整係長、和田企画振興係長、尾関資料係長、

村田課長補佐兼図書利用係長、近藤調査相談係長、

稲垣課長補佐兼郷土・地図情報係長

県教育委員会出席者

学校支援課 渡部課長補佐兼教科教育第二係長

県民文化局出席者

文化伝承課 有田課長、加藤主査

傍聴者

1名

6 議事の経過及び結果

[午後1時30分、副館長の司会進行により、はじめに委員の交代につき説明を行った。]

[新任委員2名が自己紹介]

[事務局から本日の出席者について、委員10名中、9名が出席しており、定足数に達している旨を報告した。]

[事務局から当協議会には委員長及び副委員長各1名を置き、委員長が当協議会の議長になることの説明を行った。前委員長の退任により空席となった委員長を選出するまで浦部副委員長が進行を務めた。その後、委員の互選により折戸委員が委員長に選出された。]

(折戸委員長挨拶要旨)

本日は様々な方面で活躍されている委員のみなさまから忌憚のない意見をいただくことで、私の委員長としての役割を果たしていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

また引き続き、副委員長は、浦部委員にお願いします。

(委員長)

[委員長は、会議次第に従い進行を行った。]

(鍋島館長挨拶要旨)

委員の皆様には、御多用のなか、令和元年度 第1回の岐阜県図書館協議会にお集まりをいただき、御礼申し上げます。

審議に先立ち、岐阜県図書館における最近の取組やニュースについて、いくつか御報告させていただきます。

4月5日から5月26日にかけて、改元記念の企画展「平成の歩みと文学を振り返る」を開催し、本展示を監修いただきました、岐阜大学の林正子先生には、4月29日に「<平成の岐阜>というコスモス～岐阜ゆかりの作家と作品～」という演題で記念講演会を開催いただいた。

6月2日には、小島信夫文学賞の会と共催し、第10回的小島信夫文学賞授賞式を、これに引き続き講演会として、同賞の審査委員でもある、本県出身の作家・フランス文学者である堀江敏幸先生と、文芸評論家の清水良典先生による対談を行った。

当館の開館記念日である7月7日は、NHK連続テレビ小説「半分、青い」の主人公、鈴愛（すずめ）と律の誕生日でもあり、この日に合わせ、脚本家・映画監督の北川悦吏子さんのトークショーを開催した。定員の2倍となる応募があった。

当館が進めている「社会的課題の解決支援」のうち、健康・医療、がん教育について本年度は、岐大医学部・同附属病院と連携し、3回シリーズの夏休み中学生向け講座「がんと医療」を実施中である。

「法律情報の提供の充実」については、昨年度のパイロット事業の成果を踏まえ、5月から隔月で、県弁護士会の御協力による、無料の「弁護士なんでも相談会」を当館2階の研究室で実施している。

国際理解・国際交流については、リトアニア関係では、7月27日にリトアニア文化交流フェスティバルを開催し、8月25日までリトアニア観光パネル展等を開催中である。

8月24日には、日本・ハンガリー外交関係開設150周年記念として、駐日ハンガリー大使館企画のハンガリーの人形劇を開催する。

2月に開催した昨年度第2回の本協議会において、野々村委員から御提案のあった、海外雑誌バックナンバーの岐阜大学への巡回については、5月から、中国語、ベトナム語各1誌を、大学への定期配送便により、岐阜大学へ発送を開始している。

防災関係では、県防災課と共催し、8月6日から「伊勢湾台風60周年展」を1階企画展示室で行い、併せて8月20日に記念フォーラムを多目的ホールで開催する。

鹿児島県との連携・交流事業として、9月15日から「岐阜と薩摩の絆、パネル展Ⅱ」を開催、9月15日には、NHK大河ドラマの時代考証を担当された原口泉氏の講演を行う。

アウトリーチサービスの充実については、紺野美沙子名誉館長朗読会について、11月3日の当館での実施に加え、翌日、遠隔地である東濃・中津川市において、同じ演目（スーホの白い馬）を開催する。

また、昨年6月に開始したインターネットによるナクソス・音楽配信サービスについては、昨年度の末までに7,000件を超えるアクセスがあった。

7月7日から、遠隔地からでも当館の課題解決サービスを簡単に御利用いただけるよう、電子書籍サービスを開始した。

電子書籍は、ビジネス支援や地場産業に関する分野を中心に、法律、健康医療分野の書籍も含め約700点を今回準備した。都道府県立図書館としては全国で6番目、東海北陸では初めての導入となる。

工事関係について、特別会議室は、稼働率の向上を図るため、固定会議机を撤去し、新たに可動式の机を導入、またプロジェクターの新設、カーペットの張替えを行った。東日本大震災で問題になった吊り天井の落下防止のため、現在、エントランスロビーの天井工事中である。また多目的ホールにおいても、11月4日から、エントランスホールと同様の、吊り天井の改修工事、併せて、音響機器・照明機器のリニューアルを年度末までかけて行う。そして旧福祉友愛プール跡地を86台収容予定の地上駐車場として、11月3日の県美術館のリニューアルオープンに合わせて整備する。この地上駐車場の新設により、イベント開催日や夏休みなどの駐車場不足の改善が図れるものと考えている。

結びに、岐阜県図書館 職員一同、岐阜県の中核図書館としての役割を今後とも引き続き、しっかり果たしていく。協議会委員の皆様には、変わらぬ、御指導・御鞭撻をいただきますよう、お願いを申し上げます。

[委員長は、議題の協議事項である、平成30年度岐阜県図書館「図書館評価」について、事務局の説明を求めた。]

(事務局)

[事務局から、協議事項 平成30年度岐阜県図書館「図書館評価」について説明]

(委員長)

[委員長は、協議事項 平成30年度岐阜県図書館「図書館評価」について、委員の発言を求めた。]

(加藤委員)

郷土資料のデジタル化ということについて説明があったが、具体的にはどういった方式で残していくのか。

例えば画像だけなのか、あるいはPDF化して、ある程度データベースとしての利活用ができるのか。デジタル化の方針について伺いたい。

(多田サービス課長)

郷土資料のデジタル化は、画像で残していく方針である。

以前から実施しているが、郷土資料の目次はテキストファイル化し、検索できるようになっている。

市町村史は、昭和40年代ごろ旧市町村毎に多く刊行されており、これらの目次もテキストファイル化しており検索できる。

また新聞記事なども図書館独自で見出しを入力しているので、検索できるようになっている。

(浦部委員)

平成30年度評価指標のうち、外部データベースの利用数が大変好調であるとのこと。前年の1.5倍になっている。

30年度に増えたデータベースは、「日経BP記事検索サービス」だけとの話があったが、どういった取り組みでこんなにデータベースの利用が増えたのか。

前回にも中日新聞のデータベースがよく利用されているとお聞きしていたが、今回の利用増の内容としてどのようなデータベースがよく利用されているか。

(矢島企画課長)

29年度当初には、利用できるデータベースが少なかった。データベース数の増加とともに30年度の利用数が増えたと考えられる。

図書館要覧の14P、(8)「外部データベース一覧」のうち、29年度の6月ごろに導入したデータベースは、以下の7つである。

「東洋経済デジタルコンテンツライブラリー」、「医中誌Web」、「岐阜新聞電子縮刷版サービス」、「Mpac - マーケティング情報パック」、「JRS経営情報サービス」、「BIコモンズ電子ライブラリー」、「Miena市場情報評価ナビ」

そして、30年度には「日経BP記事検索サービス」を導入した。

その他の要因としては、これらデータベースのチラシを作って、産業経済関連企業を訪問するなどの努力が実を結んだのではないかと考える。

(高木委員)

ナクソス（音楽配信サービス：ナクソス・ミュージック・ライブラリー）が昨年6月にスタートし、非常に好調であったというご説明があったが、この利用者の方々が、図書の貸し出し増に繋がったというような関連性はあるのか。

(村田図書利用係長)

ナクソスは、音楽配信サービスであり、これまで当館で貸し出しをしていたCDに代わるものとしての位置づけにある。

ナクソスにアクセスした利用者情報と、図書貸し出しの利用者情報とは直接に関連付けできないので、利用者の詳細の把握はできていない。

しかし、県図書館の利用を休止していた方が、ナクソスをきっかけに、再び図書貸し出しを利用するようになったということはあると思われる。

(折戸委員長)

図書館評価の12頁に、30年度の新規購入冊数15,848冊とある。また図書館要覧5頁には、令和元年度図書資料費予算の内訳が記載されているところであるが、本館用図書のうち、一般図書、雑誌の購入基準はどのようになっているのか。

(尾関資料係長)

当館の購入選定基準は、岐阜県図書館資料収集方針による。岐阜県に関する郷土資料は網羅的に購入し、その他、社会情勢等を考慮して選定している。

実際の作業としては、職員が週2回の現物図書にあたり、2週間に1回、約600冊前後の図書を選定して購入している。

岐阜県図書館資料収集方針はホームページにも掲載している。

市町村図書への支援も県立図書館の大きな役割のひとつであり、市町村では買えないような資料を購入することもある。

(浦部委員)

ナクソス（音楽配信サービス：ナクソス・ミュージック・ライブラリー）で気になったことがある。

昨日、当館のホームページを見てみたところ、ナクソスへ入る、入口がわかりにくい。蔵書検索の入り口とは別に、ナクソスのサイトに入ってから、聞きたいものを検索する方式のようだが、当館のホームページを見てもナクソスがあることが、すぐにわからない。よくわかるようにしていただきたい。

一方、今年度導入された、「電子書籍」は、トップページからすぐに入り方がわかった。

また、ホームページの利用案内の「来館できない人へのサービス」の中に、ナクソスと電子書籍が入っていない。ここにも項目として入れていただくとよい。

またナクソスや電子書籍について、岐阜県全体への広報は十分されているのか。

県立図書館で、ナクソスや電子書籍のサービスがあるところは少ない。ナクソスと電子書籍は、広い面積の岐阜県全体へ提供できるサービスであるので、岐阜県全体でたくさん使っていただきたい。非常に先進的な良いサービスを失敗させないためにも、しっかりPRをやっていただきたい。

(館 長)

先ほどの協議事項説明でふれた「次期書誌情報システム更新」のなかで、ホームページについても設計をやり直すところである。次期システムでは、ホームページの利便性向上に係る機能を追加する。

より使いやすく、わかりやすいホームページになるよう、ナクソス及び電子書籍の入口も含めた全体の画面設計を見直す。いただいたご意見を反映していく。

あわせて在日外国人等に対し、「やさしい日本語」で説明できる取り組みを進めている。例えば「遠隔地利用者返却サービス」や「相互貸借サービス」と漢字ばかりで標記してもなじみのない人には何のことかわかりにくい。

より多くの方に使い勝手の良いものになるよう考慮しつつ、わかりやすいホームページの研究と作成に努める。

(加藤委員)

同じくホームページについて、現時点では、検索サービスしかスマートフォン対応していない。現在のホームページは、パソコン向けの対応であるが、スマートフォン対応になると、より利便性が高まってアクセス数も増えるのではないかと思う。スマートフォン対応について計画はあるのか。

(館 長)

「次期書誌情報システム更新」の中で、スマートフォン対応についても作業を進めているところである。

[委員長は、協議事項に対する質疑意見を打ち切り、報告事項 令和元年度に実施する工事について、事務局の説明を求めた。]

(事務局)

[事務局から、報告事項 令和元年度に実施する工事について 説明]

[委員長は、報告事項 令和元年度に実施する工事について、委員の発言を求めた。]

(山川委員)

工事がたくさん行われるということで、騒音が発生すると思われるが、その対策はどうしているのか。

12月2日からの休館に際し、なにか対策を考えているか。前回6月20日から7月5日まで工事のための臨時休館の際には、通常より貸出できる冊数が増え、貸出期間も長くなり、ゆとりを持って利用できた。

(総務課長)

天井の改修となると、どうしても音が発生する。騒音対策については、大きな音が発生する作業は、できるだけ毎週月曜日の休館日や、月末金曜日の図書整理日、開館日には早朝など、なるべく人が少ない時間帯に行うよう、工事業者と相談しながら作業をすすめている。

また、防音シートを使用して、少しでも音が小さくなるよう工夫している。

工事会社の従業員の方々には、図書館での工事ということを、十分意識して作業をしてもらっている。

(村田図書利用係長)

12月2日から12月17日にも工事と蔵書点検を実施するための休館期間がある。この時期にも、貸出期間を延長し、貸出冊数を一人20冊までにする予定である。同じく年末年始の休館についても同様の措置を検討している。長期休みのときは、利用者に不便をかけるので、貸出期間延長、貸出冊数増で便宜を図りたいと考えている。

[委員長は、報告事項に対する質疑意見を打ち切り、図書館運営全般について委員の発言を求めた。]

(浦部委員)

岐阜県図書館の多くのイベント、多彩な試みには感服している。

あまりに多いので、図書館職員は、過重労働は大丈夫だろうかと心配になる。

今後もしろいろな取り組み、特に障がい者サービスを積極的に行っているので、期待している。

県庁の方も出席されているので申し上げる、ぜひ職員の人員拡充をお願いしたい。

(加藤委員)

図書館職員の皆さんよくやっていると普段から感じている。しかし図書館の利用があつてこそ、その努力も報われる。

県図書館は、県庁の後に建設された、郊外型の図書館施設である。アクセスについてマイカーを使う人はよいが、公共交通機関を利用する人には、便利でない。

コミュニティーバスは運行されているが、これは時計回りのみの一方通行。西岐阜駅からくる場合は、図書館まで、4つくらいの停留所で来られるが、帰りは反時計回り、40くらいのバス停を経由しないと西岐阜駅にたどりつけない。2系統路線があるので、組み

合わせていけば、何とかなるのかもしれないが、いずれにせよわかりにくく、使い勝手はよくない。

運行事業者と協議して、より使いやすいアクセスルートの確保の申し入れをするなどして、マイカー利用者以外の方のアクセスを確保していただくことが必要ではないか。

(佐藤委員)

図書館は本を借りるだけでなく、いろんなイベントをやっていることがわかった。イベントを通じて図書館へ足を運ぶことでいろんなことに興味をもってもらえるとよいと思う。

(長瀬委員)

昨年から協議会委員として、参加している。

県図書館はいろんな活動、講座を実施している。私が勤務する図書館でも文学以外、生活にかかわる情報提供を心がけているところである。

健康に関するイベント、法律講座など、実施後の反響はどのようなものであるか。これらイベントが、図書館の利用にどのように繋がっているか。

また、利用者からのニーズはどのように把握しているのか。

(多田課長)

イベントに関連して関連本のリストを配布したり、関連資料を展示していますよとイベント時に案内して閲覧室に呼び込む工夫・努力はしているが、書店と違って同じ関連本が複数あるわけではないので、貸し出し増には繋がっていない。

しかし、貸出冊数は、減るばかりではなく少しずつではあるが、下げ止まりの傾向にある。電子書籍の導入が始まり、本でなくても、図書館利用に繋がっていけるのではないかと期待している。

ニーズの把握については、県のがんの対策計画の中に、図書館での取り組みも入っており、県関係機関との連携を通じて、課題の把握をしているところである。

(矢島企画課長)

生活にかかわる情報提供について、いろんなイベント後に、アンケート調査をしている。ほとんどは良いことが書いてあるが、中には厳しいご意見もある。これらの意見は、次回のイベント運営の参考にしている。

ニーズ把握については、年2回アンケート調査を実施し、大まかなニーズの把握をしている。またアンケート用紙には自由記載欄を設け、どんなことでもいいから意見を記載してもらい、そこで具体的な利用者ニーズを把握、確認している。

(山川委員)

いつも当館のイベントや企画に楽しく参加している。

電子書籍は、先月はじめて知って、内容にすごく驚いた。私は大学生だが、周りの人にも利用を勧めていきたい。今後利用が広まってくるとよいと思う。

(野々村委員)

いつも岐阜県図書館にはお世話になっている。

岐阜大学は、林教授の特別講演をさせていただいたり、外国雑誌の貸出、留学生をイベントに参加させてもらったり、いろんな企画で県図書館と連携している。

岐阜大学では、学術アーカイブスがスタート、県博物館の博物館機能全県域展開の一環として大学にあるお宝を発掘するといった取り組みを行っている。

本に関しては、今後も県図書館にはいろんな企画にご協力をお願いしたい。

(高木委員)

ナクソス、電子書籍など先進的な取り組みをされている。

今回も「がん」がテーマ、関心のある人は限定的かもしれないけれど、当事者にとっては正に必要な情報である。今年度も「いじめ」をテーマにすること、是非、なんでもトライして欲しい。予算等の制約もあると思うが、失敗を恐れずにどんどんやっていただきたい。

(金森委員)

先日行われた県主催の関ヶ原のイベントに参加できなくて大変残念であった。来年度はぜひ参加したい。

また今回協議会の評価資料等、膨大な資料作成に頭が下がる。

協議会の前に、図書館内を見てきた。以前と比べて、どこに何の本があるのかが非常にわかりやすくなった。館内マップもとてもわかりやすい。

医療コーナーには、がんの特化したコーナーあり、とても利用しやすくなった。

要望であるが、医療分野においてはがんだけでなく、不妊治療に関する本のコーナーを設置してはどうか。こういった本をカウンターで「どこにありますか」と利用者は聞きづらいと思われる。安心して生み育てる以前の課題解決として、少子化対策の一助になるのではないかな。

次に、図書館評価の8頁、⑥学校教育・教材研究の支援、⑧人権教育支援に関係すると思われるが、特別の教科として「道徳」が入った。道徳に関するコーナーがあるとよい。絵本などの関連本が揃っていると、学校の教員が図書館に立ち寄った際、並行読書の参考になると思われる。

また、人権にかかわるLGBT's関係の書籍もコーナーを作っていただけると、ありがたい。

マンパワー足りないなか大変だと思うが、検討いただきたい。

(館 長)

ナクソスと電子書籍については、広報に努め、資料の充実を図っていききたい。

障がい者サービスについては、マラケシュ条約や関係法令等の改正に従い、サービスの充実を図りたい。障がい者サービスは、各市町村図書館においても重要な課題である。岐阜県公共図書館協議会等を通じて、県内図書館全体で、障がい者サービスの底上げ、充実を図っていく。

公共交通機関でのアクセスの件について、バス運行事業者は民間企業なので、必ずしも当方の要望を聞いてもらえるわけでないので、難しい。

西岐阜駅からのアクセスについては、ホームページに、地図だけでなく、写真画像を利用したわかりやすい案内を検討している。写真上に「ここを曲がるんですよ」、「この地下道を渡りますよ」といった案内を入れた、写真付き道案内を考えているところである。

図書館だけでなく博物館もお手伝いするなど岐阜県文化施設全体で岐阜大学との連携を進めていく。

来年夏には、「岐阜関ヶ原古戦場記念館」がいよいよオープンするのにあわせ、図書館でも「関ヶ原」に力をいれて事業を展開する予定である。県民文化局、県全体で盛り上げていきたい。

閲覧室のレイアウトをほめていただき、うれしく思う。6月から7月にかけての2週間余の休館中に、レイアウト変更、離れ小島になって使い勝手が悪いところを修正した。

不妊治療にかかるコーナー、職員に直接に聞かなくてもわかるように設置を検討したい。

道徳については、2階の郷土資料のコーナーに「学校支援コーナー」を設置している。学校の先生の研究支援のため、研究指定校の実践書、先進事例の紹介なども行っている。先生方のご利用を促進していただきたい。

(委員長)

[委員長は、図書館運営全般に対する質疑意見を打ち切り、各委員の意見を参考に事業を進めるよう事務局に依頼し、今後のスケジュールについて事務局に説明を求めた。]

(事務局)

[今後のスケジュールについて説明]

次回の協議会の開催は、令和2年2月下旬の開催予定。

[本日の協議事項の審議がすべて終了したことを確認し、午後3時10分に閉会宣言した。]